編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年12月１日より４Ｋ・８Ｋ衛星放送がスタートし、徐々に宅内でも設置作業が増えていくのでしょうか。オーディオ・ヴィジュアル好きなため、自宅で４Ｋ放送を見られるようにしたのですが、４Ｋならではの放送番組はまだまだ少ないように思います。

そもそも従来のフルハイビジョン（２Ｋ）でさえ映画館画質といわれ、実際に２Ｋコンテンツを専用プレイヤーで再生している小規模映画館もあります。そのため、自宅使用のテレビで４Ｋ以上の画質まで必要なのか、常々疑問に思っていました。試しに４Ｋの映画を４Ｋテレビで見ると、ものすごくシャープでくっきり映り過ぎ、まるで安っぽいテレビドラマのようでもったいない気持ちになります。むしろ、２Ｋの映画を４Ｋテレビで再生する方がよほど映画っぽいかもしれません。

一方、スポーツ中継についてはそのシャープさが向くことでしょう。また、４Ｋテレビでは１秒120フレームで表示する機能が一般的で、それも動きの速いスポーツ番組には最適です。でもその機能、映画コンテンツではかえってヌルヌル動いて見えるので気持ち悪いのです。同じテレビなのに、コンテンツによって見え方が違い、難しいものだなと思ったものでした。　(Y.H)

神宮球場（東京）付近を歩いていたら、公園があった場所に工事用の擁壁が設置され、その光景に違和感を覚えつつ少し離れてみると、新国立競技場がそれらしい形を整えるところまで出来上がった姿を見つけ、改めて2020年の東京オリンピック・パラリンピックが近づいてきているという実感が湧いてきました。

訪日客の増加により、京都では交通機関の混雑が激しくなり、日常生活にも支障が出ているような話を聞きますが、これと同様、国内外問わずこのイベント訪問客で首都圏の鉄道では、特に通勤時間帯にホームに入りきれない乗客であふれかえると予想されているうえに、暑さ対策で競技時間の繰り上げも行われることもあり、さらに拍車がかかるものとメディアでは騒がれています。

定時出勤が困難を極めるならば、時間繰り上げの競技を冷房の効いた自宅のテレビで観戦してからの時差通勤、いっそのことお休みして終日テレビ観戦もありかと、気楽に考えています。ところで、４Ｋ・８Ｋ映像、立体映像、AI、５ＧといったICTがイベントを盛り上げてくれるようですが、これらの処理能力や容量のパンクがないこと、そして渋滞等がICTを支える通信工事に大きな影響を与えないことを祈っています。　(I.O)

こんな時が危ない!

- □ 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- □ 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- □ 同一作業が長く続くよりも、1日～2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- □ わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- □ 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- □ 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- □ 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- □ 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。
http://www.itea.or.jp/works/raisers.html
また、ホームページ内の検索窓から
読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。
是非ご活用ください。

Raisers第 67 巻 第１ 号（通巻第734号） 2019 年 １ 月 5 日印刷 2019 年 １ 月 10 日発行
本体価格600円（税別） ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む
■編　集　一般社団法人情報通信エンジニアリング協会　〒150-0033　東京都渋谷区猿楽町3-3
Tel. (03) 3464-3211㈹　Fax. (03) 3464-3216
■発行所　一般社団法人電気通信協会　〒101-0003　東京都千代田区一ツ橋2-1-1　如水会ビルディング６階
Tel. (03) 3288-0608　Fax (03) 3288-0615
（本誌掲載記事の無断転載を禁じます。）